

レジメン名 : mFOLFOX6+アビタックス 2週毎(ポンプ)

疾患名 : 大腸がん

投与間隔 (1コース期間) : 14日間

総コース数 : PDになるまで

特記事項 : RAS遺伝子野生型

投与 順序	レジメン内容 (医薬品名)	投与量	単位 (mg/m ² , V等)	投与方法 (手技)	投与時間 (速度等)	投与日 (Day1等)	備考 (内服薬の用法等)
Rp. 1	生食100mL	1	瓶	点滴静注・メイン	15分	Day1	ルート確保用
2	パロセトロン点滴静注バッグ0.75	1	袋				
	デキサート6.6mg	1	瓶				
	デキサート1.65mg	2	管	点滴静注・メイン	15分	Day1	
	ポラミン注5mg	2	本				
3	アビタックス	400	mg/m ²	点滴静注・メイン	2時間	Day1	投与終了後1時間は経過観察 アビタックスを入れる分生食を抜いて混注し、全量250mLにする
	生食250mL	1	袋				
	アビタックス	250	mg/m ²	点滴静注・メイン	1時間	Day1 (2回目以降)	投与終了後1時間は経過観察 アビタックスを入れる分生食を抜いて混注し、全量250mLにする
3'	生理食塩液 250mL	1	袋				
4	生食100mL	1	本	点滴静注・メイン	1時間	Day1	
5	5%ブドウ糖 250mL	1	袋	点滴静注・メイン	2時間	Day1	オキサリプラチンと同時に2時間で投与
	レボホリナート	200	mg/m ²				
6	オキサリプラチン	85	mg/m ²	点滴静注・側管	2時間	Day1	レボホリナートと同時に2時間で投与
	5%ブドウ糖 250mL	1	袋				
7	フルオウラシル	400	mg/m ²	点滴静注・メイン	急速静注	Day1	レボホリナート終了後に全開で投与
	生食 50mL	1	本				
8	フルオウラシル	2400	mg/m ²	インヒューサーポンプ	46時間	Day1	ポーラスのフルオウラシル終了後46時間で投与 全量140mLとする
	生食 100mL	1	本				
9 (10)	生食シリンジ20mL	1	本	点滴静注・メイン		Day3	持続のフルオウラシル終了後使用、フラッシュ用
	1 生理食塩液 100mL	1	本	点滴静注		Day8	ルート確保用
	生理食塩液 50mL	1	本				
	デキサート 1.65mg	2	本				
2	ポラミン注 5mg	2	本	点滴静注	15分	Day8	
3	アビタックス	250	mg/m ²				
	生食250mL	1	袋	点滴静注	1時間	Day8	投与終了後1時間は経過観察 アビタックスを入れる分生食を抜いて混注し、全量250mLにする
4	生食100mL	1	本	点滴静注	1時間	Day8	1時間経過観察

減量基準

減量規定 (副作用名等)	減量条件 (検査値等)	抗癌剤名	減量割合等 (減量後の割合又は投与量)
好中球減少	500/mm ³ 未満	オキサリプラチンを65mg/m ² に減量	
血小板減少	50000/mm ³ 未満	5-FUを20%減量(ポーラス、持続ともに)	
t-Bil上昇	5mg/dL以上	5-FU	投与中止

参考文献

- ①大腸癌治療ガイドライン 医師用 2019年版
- ②制吐薬適正使用ガイドライン2015年10月(第2版)
- ③改訂第6版がん化学療法レジメンハンドブック